

金賞

雪野



正面奥の山は鯛の巣山、この山の東に備後から出雲に抜ける峠道がありその昔、隠岐へ配流された王が通ったと伝わる。王が貫けた峠すなわち「大貫峠」の地名が残っている。また、画像の中央に阿井川が流れ、付近を江戸後期に伊能忠敬が日本地図の測量で通ったと伝わる。前日までに振った雪にこの朝、新雪が積もり純白の雪野となった。青空と雪野、枝葉についた雪が消える前に急いで撮りためた。

銀賞

春告げ草の季節



庄原市東城町久代為重。

毎年春になると、地元の皆さまが大切に育てておられる福寿草に元気をもらっています。

銀賞

厳冬期の造形美



2023年2月26日、比婆山連峰の六ノ原川沿いをおっぱら越へ向けて登攀中にふと沢沿いに目をやると、雪深い中勢いよく流れる沢に一本の倒木、その倒木には美しいしぶき氷が造りあげられていた。

厳しい寒さと勢いのある水が何日もかけ造り上げた、比婆山厳冬期にしか見られない芸術にシャッターを切りました。

特別賞

霧の中のおろち号



春霞の中を、おろち号がやって来ます。見られるのもあとわずか。

50年前の木次線のにぎわいも、夢の後なののでしょうか。

(急行『ちどり』が懐かしいです。)

特別賞

「輝けるきらきら星 -
帝釈峡湖水開き祭りの躍動感とともに」



帝釈峡観光の幕開けとなる第55回帝釈峡湖水開き祭りで、美しい着物に身を包み音楽に合わせて跳ねまわる神石踊り娘隊きらきら星、祭りの雰囲気と神石踊り娘隊の踊りが調和し、会場が一体になって盛り上がりました。

このようなイベントを通じて庄原市が提唱する「関係人口の創出」につながることを期待しシャッターを切りました。

特別賞

桜開花の雪化粧



桜開花の頃、雪化粧したので高原リゾートの休暇村帝釈峡へ撮影に行きました。この日は、天候にも恵まれて空の青さと桜の花に積もっている雪の白さとのコントラストがとても良かったのでシャッターを切りました。

特別賞

ここにしか咲かない花



2023年4月1日、東城町三坂地区帝釈の春。

最後にここに来たのは、30年以上前。

友人達と何を語りながら、この桜を見上げていたのだろう。

多くの夢を語りあうのを、静かに聞いてくれていた木々よ、桜たちよ。

30年が過ぎた今も尚、同じ場所で、ここにしか咲かないあなたの様な花でありたいと思う。

特別賞

雄橋



51歳の私が子どもの頃、父母に連れられ訪れた帝釈峡。

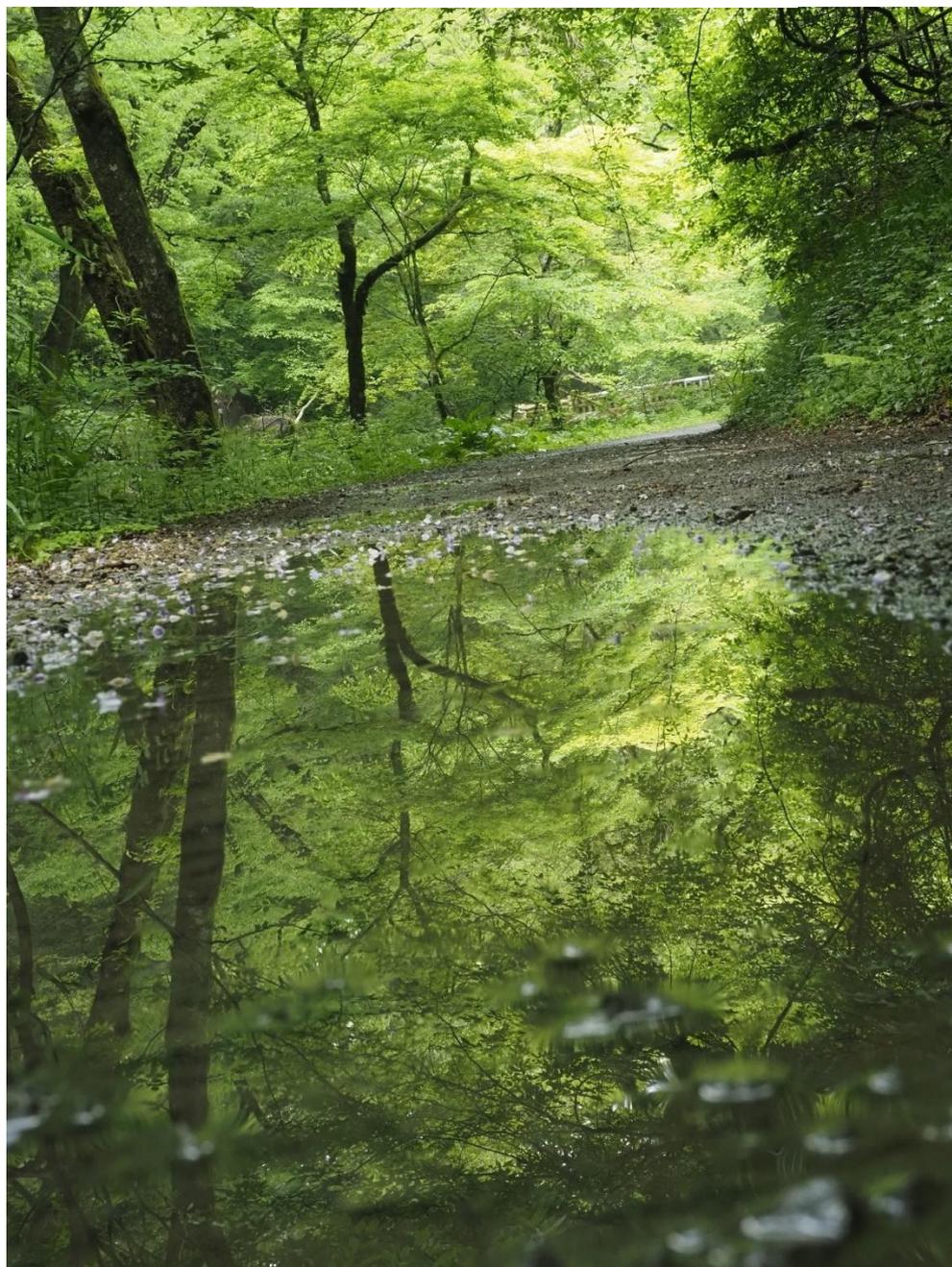
当時は景観の素晴らしさよりも、友人との散歩に夢中になっていた記憶があります。

先日、思い立って訪れたところ、新緑の美しさ、川の流れの清々しさ、雄橋の勇壮な景観に感動し、改めて帝釈峡の景観を素晴らしいと感じました。

四季折々の景観を撮影しに、また来ようと思います。

特別賞

緑しかない景色



雨上がり 5月の帝釈峡。

紅葉シーズンが人気の帝釈峡ですが、新緑の頃も素敵なスポットです。

特別賞

棚田の夕暮れ



島根県奥出雲町追谷地区のすばらしい棚田風景を残しています。

田植え前の田んぼに水を張った時期の夕暮れが水面に雲と青空が写り込み、ちょうど飛行機が通り、飛行機雲が添景となりました。

いつまでも残ってほしい棚田風景です。